タネを育ててみよう！

ねらい：園庭の自然に触れ、植物を大切にする気持ちを知る。

対象児：5歳児　かえで組
作成者：真鍋柚稀
作成日：2023/11/27

〇振り返り〇

いつものように園庭で遊んでいると真っ黒なタネを発見した子ども達。しばらく様子を見ていると、種を拾うだけではなく、集めた種を埋めるために、畑を作る姿がありました。夏に年長児でトマトを植えた時の事を思い出し、「ふかふかのお布団の土がええよな」「あんまりしすぎたらカチカチになるかな」と自分たちで考えながら土を柔らかくしていました。次は種を植えるための土台作り。「土はできたけん次は種植えるところつくるよ！」と種を植えるためのくぼみをどんどん作っていきました。いよいよ種を植えて「何ができるかな」と毎日畑の様子を気にかけながらお世話をしています。天候の悪い日には畑が崩れてしまうこともあり「また土柔らかくしなきゃ！」と何度も繰り返していく中で植物を育てる事の大変さにも気づいた様子でした。「崩れないようにするにはどうしたらいいかな？」と問いかけると「土で壁を作ったらいいんじゃない？」「ここに木を立てて踏まないでねのマークにするのは？」とどんどんアイデアがでてきて、頑丈な畑が完成していきました。子ども達のこうした発見やひらめきから生まれる遊びを大切にしながら、子ども達自身で遊びを広げていけるような声かけや関わりをしていきたいと思います。(協同性、自然との関わり・生命尊重、言葉による伝え合い)